

あぐいめ～る新川

第 102 号(令和 7 年 6 月発行)
富山県新川農林振興センター
〒938-0801 黒部市荻生 3200
(TEL) 担い手支援課 (0765) 52-0268
(0765) 52-5192
農業普及課 (0765) 52-0094
(0765) 52-0945
(FAX) (0765) 52-3115

新川農業の未来を担う人 ～第 47 回～ 野畑 宣久 氏(黒部市栃屋)

～ 黒部の白ねぎをもっと広げていきたい ～

野畑宣久さんは(農)ファームとちやに 10 年間勤務し、様々な農作物の栽培管理に従事していましたが、「白ねぎを中心とした野菜作りに力を入れたい」という思いが強くなり、平成 29 年に白ねぎを中心とした野菜専業経営体として独立・開業しました。

近年では、白ねぎ専作農家として様々な作型を組み合わせた周年出荷を実現しています。また、こだわりの有機肥料を使った栽培方法を実施し、さらなる品質アップに取り組んでいます。

令和 3 年度より、宇奈月地区ねぎ組合長、令和 7 年度より黒部秋冬ねぎ出荷組合長を勤めるなど、黒部市全体の白ねぎの生産振興に尽力し、令和 6 年度ワクワクとやま農林水産奨励賞を受賞されました。



のばた のりひさ
野畑 宣久 さん

～ 美味しい白ねぎを多くの人に届けるために ～

特に土づくりに力を入れており、緑肥や微生物肥料を積極的に活用することで、保水性や排水性の良いほ場を作り、収量・品質の向上に努めています。

また、子育て世代の従業員が家庭と仕事を両立できるよう、働きやすい職場環境をさらに充実させ、子育てを応援できる経営体を目指しています。

自慢の白ねぎをもっと多くの人に味わってもらうため、今後、加工品の開発に取り組んでいきたいと考えておられます。



白ねぎの定植作業

- P. 2…～大豆の青立ち対策 開花期以降のかん水について～
- P. 3…【斑点米の発生防止に向けて】～クモヘリカメムシの発生実態とその対策～
- P. 4、5…新川管内の「とやまテロワールベジ」産地
- P. 6…熱中症対策が義務化されました！～労働者を雇用する全事業所が対象！～
- P. 7…鳥獣による農作物被害の実態と侵入防止柵の設置・維持管理のポイント
- P. 8、9…新規就農・経営継承時の活用事業の紹介～年齢と就農後年数に留意～
- P. 10、11…栄えある受賞おめでとうございます
- P. 12…耳より情報 農業経営者の皆さんへ♪

～ 大豆の青立ち対策 開花期以降のかん水について ～

大豆は、開花期から登熟期にかけて水を多く必要とする作物です。

しかしながら近年、夏季の高温・少雨により土壌水分が不足し、大豆体内の『シンク（莢・子実）』と『ソース（茎葉）』がアンバランス（シンク減によるソースの相対的過剰）となり、「青立ち」が発生するとともに、収量・品質が低下している事例が多くみられます。

このことから、今回は大豆のかん水について紹介します。

1 生育時期と水の重要性 ～いつ、かん水（土壌水分）が必要？～

（1）開花期の乾燥

花数が減少し、落花や落莢が増え、稔実莢数が著しく減少します。

（2）子実肥大期の乾燥

〈前半〉落莢と不稔莢が増加し、青立ちが発生しやすくなります。

〈後半〉葉の老化が早くなり、子実肥大期間が短縮し、収量が低下します。

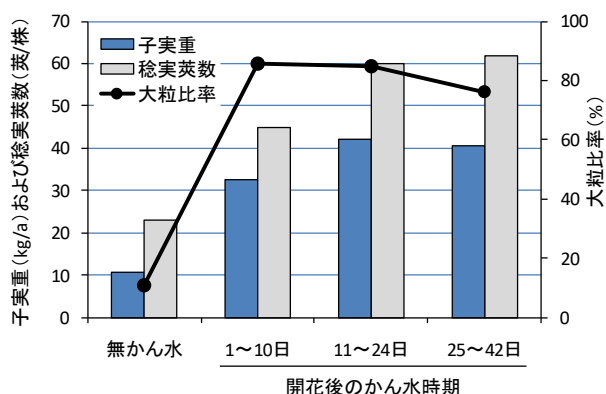


図 かん水時期と稔実莢数、大粒比率、子実重の関係（H14 農業試験場）

（3）開花期以降の全期間

水分ストレスを受けると、根からの養水分吸収が阻害され、蒸散量の急速な減少により光合成が低下し、収量に影響します。

水不足により落花・落莢し、
莢数が少ない。



莢伸長期

莢が少なく青立ちしている

見た目は回復しても莢数は減少



成熟期

写真 開花期以降の水不足により発生した落花・落莢・青立ち（R5 現地ほ場）

以上より大豆では、開花期以降の土壌水分が収量の確保と青立ちの発生防止に非常に重要な要素となっています。このため、9月上旬までの間、降雨が少ない場合は積極的な畦間かん水を実施しましょう。

【斑点米の発生防止に向けて】 ～クモヘリカメムシの発生実態とその対策～

クモヘリカメムシ（以下「クモヘリ」）は体長約 17mm の大型の斑点米カメムシで、関東や東海地方の斑点米被害の主要種として知られています（写真 1）。以前は本県でのクモヘリの発生量は少なく、大きな問題になっていませんでした。しかし、近年、県内でクモヘリの発生分布域が急速に拡大しており、新川管内でも発生が確認されています（図 1）。



写真 1 エノコログサを吸汁するクモヘリカメムシ
の成虫（左）及び幼虫（右）

1 クモヘリの発生生態

クモヘリは、冬期はスギ等の林地で成虫越冬し、越冬明けの成虫が、6 月上中旬にエノコログサやヒメシバ等のイネ科雑草の出穂と同時に雑草地へ飛来します。雑草地で繁殖したクモヘリは、水田に侵入し水稻を加害します。したがってクモヘリの斑点米被害は山間地で多く見られます。

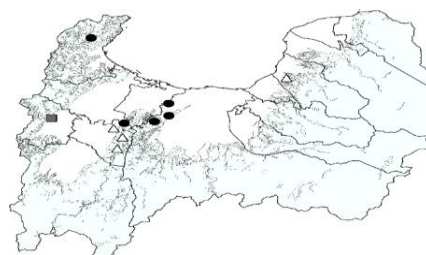
また、1 月の平均最高気温が高くなると、越冬個体が淘汰されず、次年度の発生量が多くなる危険があるため、注意が必要です（図 2）。

2 クモヘリによる被害とその対策

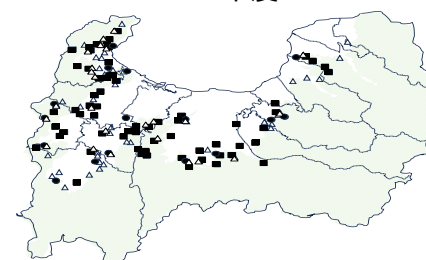
クモヘリは、水稻の出穂前はイネ科植物の「穂」を吸汁するので、まずはイネ科雑草を出穂させないよう水稻近隣の雑草管理を行い、発生源を作らないことが重要です。防除対策は地域の営農情報を参考に、スタークル剤、エクシード剤、キラップ剤等の効果の高い薬剤を使用し、水稻品種にかかわらず穂揃期と傾穂期の 2 回防除を行い、斑点米の発生を防止しましょう。

また、山手付近では、出穂の早い早生品種はカメムシが集中するため、中・晩生品種を作付けすることをおすすめします。

2018 年度



2024 年度



△雑草地（6 月下旬頃）

●早生稲場（7 月中旬頃）

■中生稲場（8 月上旬頃）

図 1 県内のクモヘリカメムシの発生状況

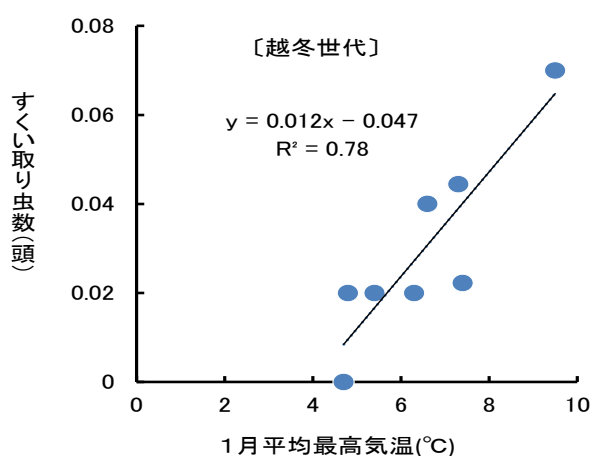


図 2 近年の県内ほ場におけるクモヘリカメムシ 20 回すくい取り虫数と 1 月平均最高気温の関係

新川管内の「とやまテロワールベジ」産地

本県産の園芸作物の特徴や価値を消費者に PR するため、県では「とやまテロワールベジ」創造支援事業で、県内園芸産地の土地の個性（テロワール）を活かした園芸作物のブランディングや PR の取組みを実施しています。この事業を活用し、PR を実施している管内の産地を紹介します。

1 新川きゅうり出荷組合（出荷期間：4月中旬～7月下旬）

昭和 53 年の組合設立以来、約半世紀続く伝統産地です。地元のたい肥を利用した土づくりにこだわり、名水の黒部川伏流水（地下水）をたっぷり含み、鮮度が良く「パリパリ」とした食感が特徴です（折っても再びくっつくほどの水分量！）。組合で栽培されたきゅうりは、直売所や県内のスーパーで販売されています。昨年度は、組合の Instagram の開設による情報発信やきゅうりの収穫体験会等を実施し、産地 PR に取り組みました。令和 7 年度からは、出荷用シールを活用し、さらなる「新川きゅうり」ブランドの周知に積極的に取り組んでいます。



←出荷用フィルム
添付用シール

【栽培暦】

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
	は種	—	定植	—	収穫	

2 入善ジャンボ西瓜生産組合（出荷期間：7月中旬～8月下旬）

水はけがよい黒部川扇状地の特徴を生かし、明治 30 年から栽培が始まり、日本一の大きさを誇っています。その大きさは、1 個で約 120 人分！種から栽培することで、すいか本来の味を引き出し、大きな果実にするため、1 株から 1 個の果実を厳選しています。平成 29 年 12 月には地理的表示（G I）保護制度登録（富山県第 1 号）を取得し、ブランディング強化に取り組んでいます。昨年度は、ブランド PR のためのホームページの作成や、地元レストランと連携したスイーツ開発などブランド周知に積極的に取り組んでいます。



←入善ジャンボ西瓜
紹介ページは
こちら

【栽培暦】

12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月		
さん俵作成				は種	-	定植	-	整枝・摘果・防除	-	収穫

さん俵…出荷時にすいかの上下に挟む俵

3 黒部丸いも生産組合（出荷期間：11月中旬～12月）

「黒部丸いも」は30年以上の歴史を持ち、強い粘りとなめらかな口あたりが特徴です。黒部川の豊富な水を活用して、高品質な丸いもが生産されています。11月から収穫が始まり、黒部市の道の駅「KOKO くろべ」で購入できます。

また、和菓子の原料として和菓子店との提携や、地産地消や食育の一環として黒部市内の学校給食に提供するなど、地元のブランド産品である「黒部丸いも」のPR活動に努めています。

昨年度からは、組合のInstagramの開設やイベントへの出店、東京の百貨店での販売など、積極的な広報・販促活動も行っています。



黒部丸いも



黒部丸いも
Instagram

【栽培暦】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
定植								収穫・調製			

4 新川大根出荷組合（出荷期間：6月上中旬～7月中旬、10月上旬～12月中旬）

「新川だいこん」は一条高うね深層施肥という独特の方法で栽培されるだいこんで、ひげ根が細く、跡が目立たないため表皮がつるつるしていることから「美人だいこん」と呼ばれています。魚津市の新川大根出荷組合の4戸の農家が栽培しており、ほ場巡回や目揃え会の開催など、高品質安定生産に努めています。

販売は市場を通して行われており、出荷期間中は県内のスーパーで販売されています。

令和5年に「とやまテロワールベジ」に認定され、スーパー店頭でのPR販売を行いました。昨年度は県単事業を活用し、PR動画やブランドPRのためのホームページを作成し、消費者に新川だいこんを知ってもらうための取組みを積極的に実施しています。



新川だいこん目揃え会



新川だいこん
紹介ページ

【栽培暦】

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
	は種		収穫		は種		収穫			

**「とやまテロワールベジ」産地創造支援事業を活用して産地をPRしませんか？
ご相談は新川農林振興センター園芸振興班まで**

熱中症対策が義務化されました！ ～労働者を雇用する全事業所が対象！～

農作業中の熱中症による死亡者の約 82%が7～8月に集中しており(図1)、新川管内でも昨年8月にハウス内で熱中症により死亡する農作業事故が発生しています。

熱中症の重篤化を防止するため、厚生労働省の定める労働安全衛生規則が改正され、令和7年6月1日より事業者に対し、雇用する労働者への熱中症対策が義務付けられました。

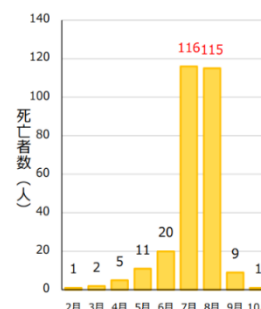


図1 農作業中の熱中症による月別死亡者数
(H26～R5 累計：農林水産省調べ)

1 労働安全衛生規則の改正

(1) 事業者に義務付けられた内容

労働者を雇用する事業所は、熱中症があった際に対応できるよう、早期発見のための「体制整備」、重篤化を防止するための「措置の実施手順の作成」が義務付けられました。また、その内容を「関係作業者に周知」することも求められています。適切に行わなかった場合には、罰則(6カ月以下の懲役又は50万円以下の罰金)も措置されています。

(2) 関係作業者への周知に「張り紙」を！

関係者への周知には張り紙がおすすめです。必要事項を入力するだけで作成可能な「熱中症対応フロー及び連絡体制」(図2)の参考様式が以下のリンクからダウンロードできます。作成したものを事務所等の皆様の目に入る場所へ掲示してみてくださいはいかがでしょうか。一度、事業所内の皆様で、どのような対策を実施するかを考えてみましょう。

○参考様式は→[こちらからダウンロード](#) (PDF: 575KB)

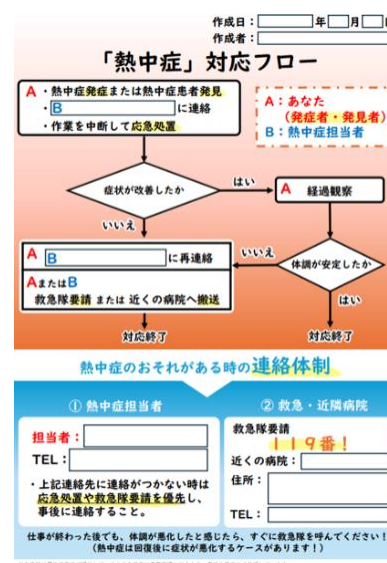


図2 「熱中症対応フロー及び連絡体制」参考様式

2 具体的な熱中症の対策方法

(1) 暑さに備える体温管理

気温が高くなる季節に入る前から暑さに身体を慣らしいきましょう。また、作業を始める直前に冷たい飲み物や冷やしたタオルで体温を下げると、作業中の体温上昇を抑制する効果があります。

(2) 休憩と水分・塩分補給

暑さや作業内容にあわせて、こまめに休憩をとりましょう。休憩時や作業中にも適宜水分補給を心がけましょう。大量の汗をかいた際は、スポーツ飲料や経口補水液等がおすすめです。

(3) 単独作業を避ける、熱中症対策アイテムを活用

熱中症は早期発見、対処が大切です。極力単独の作業は避けましょう。単独作業される場合も、事業者は定期的に巡回を行うようにしましょう。また、空調服やネッククーラー等の体温を下げる効果のあるアイテムも有効です。



鳥獣による農作物被害の実態と侵入防止柵の設置・維持管理のポイント

1 新川管内の鳥獣害の実態

令和6年度の鳥獣による農作物被害額は672万円です。被害の内訳は、約6割をイノシシが占めており、次いで、ニホンザル、鳥類（カラス、ヒヨドリ、ムクドリ等）の順となっています（表、図1、図2）。また、近年は、ニホンジカの発生が急速に増加しており、令和4年度に初めて被害が確認され、今後の被害拡大が懸念されています。

表 新川管内における獣種別の農作物被害金額(万円)

獣種	R2	R3	R4	R5	R6
イノシシ	802	384	616	759	415
ニホンザル	284	52	98	100	145
鳥類	16	0	38	94	97
ニホンジカ	0	0	291	0	0
その他	0	0	26	17	15
計	1,102	436	1,068	970	672

※データ出典：鳥獣類による農作物の被害状況調査

※鳥類はカラス、ヒヨドリ、ムクドリ等、その他はハクビシン、タヌキ、クマ等



図1 ぶどうを食べるイノシシ



図2 りんごを食べるカラス

2 侵入防止柵の設置・維持管理のポイント（詳細については→[こちら](#)）

新川管内の農作物被害の約98%は、侵入防止柵（以下、柵）を設置済みの圃場で起こっています。柵の効果をきちんと発揮させるには、正しく設置し、定期的に点検して適切に維持管理することが重要です。そこで、対策のポイントについて紹介します。

（1）電気柵

電気柵は、対象鳥獣を感電させ、鳥獣が『怖い』と思う心理効果を利用して侵入を防ぐ柵です。従って、対象鳥獣が電線に触れやすいよう、必ず対象獣種に応じた高さに電線を張る必要があります（シカは、サル用と同様の高さで対策可）。

必要電圧（4～8kV）を確保するため、定期的に電圧測定し、電圧が低下している場合は早急に原因を特定し、対処します。電圧低下の最も多い原因は、雑草等の電線接触による漏電です（図3）。電気柵下にアース線入り防草シートを使用すると、電気柵の効果を高めつつ、維持管理を省力化できます（図3）。



図3 雑草の接触により漏電している電気柵(左)



アース線入り防草シートを設置した電気柵(右)

（2）恒久柵（ワイヤーメッシュ柵、金網等）

頑丈な構造（金属製）により物理的に侵入を防ぐ柵です。

イノシシの柵下部の掘り起こしや押し上げによる侵入が問題となるため（図4）、柵下部の補強が必要です（図5）。また、柵周辺を除草し、柵の点検をしやすくするとともに、見晴らしを良くして鳥獣が近づきにくくすることも大切です。



図4 柵下部を掘り起こして

侵入しようとするイノシシ



図5 柵下部の補強事例



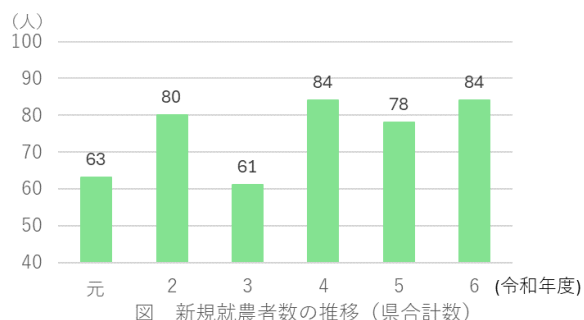
※ベグによる補強(左)、金網による補強(中央)、パイプおよびワイヤーメッシュによる補強(右)



新規就農・経営継承時の活用事業の紹介 ～年齢と就農後年数に留意～

本県における農業従事者の減少や高齢化が進んでいる一方で、新たに農業に就いた「新規就農者」数は、県全体で年平均75名前後に留まり（右図）、農業従事者の減少に歯止めがかからない状況です。

そのため、県では、新規就農者数の目標を120名に置きつつ、「経営継承」による就農も視野に入れ、以下の施策を展開しているのを、紹介します。

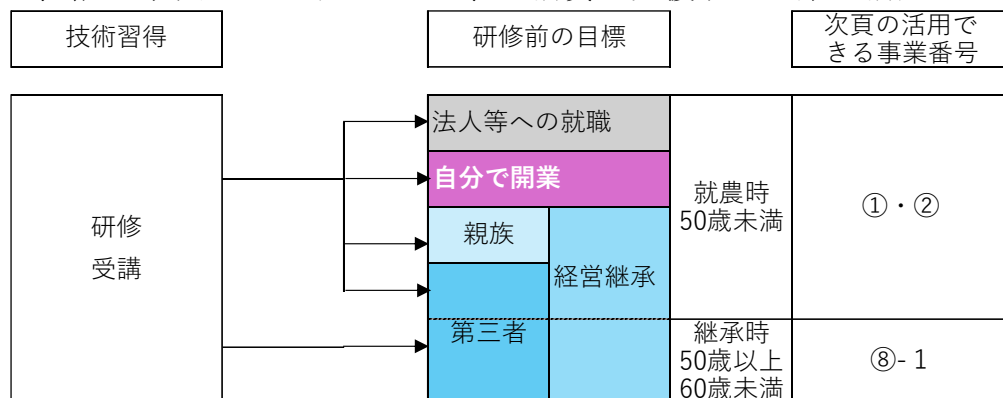


◇ 新規就農・経営継承への支援施策の一覧

補助事業は、就農準備や就農後の生活支援を行うソフト事業（薄緑色）と規模拡大や新技術導入に必要な機械施設等の取得を補助するハード事業（薄桃色）があり、それぞれ年代別に準備されていますので、令和7年度施策を次ページにより紹介します。

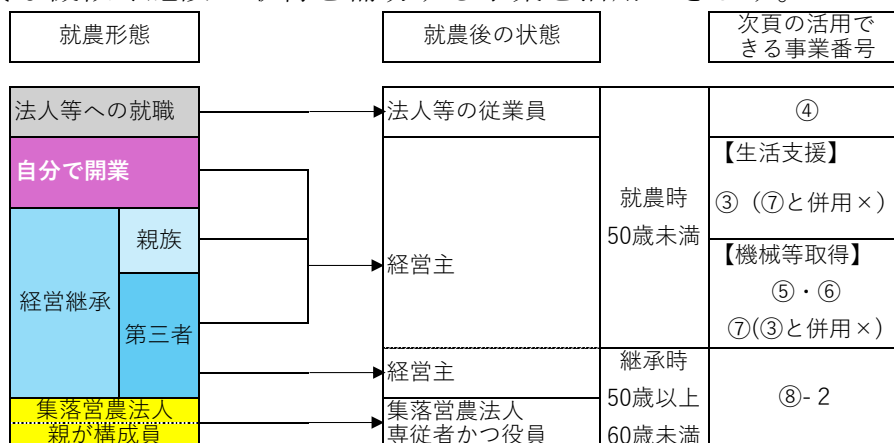
（１）就農準備の段階（次ページ一覧の①、②、⑧-１）

就農前や継承前で、農業経験が少ない方は技術習得を目的に先進農家等で研修受講ができますが、給与等収入がなくなるため、生活費を支援する施策を活用できます。



（２）就農後の段階（次ページ一覧の③、④、⑤、⑥、⑦、⑧-２）

就農後は、経営が安定するまでの段階（最長3年）における生活費の支援や、開業や継承時に必要な機械や施設の取得を補助する事業を活用できます。



◇ 新規就農者への支援策一覧

令和7年度

就農前	事業対象者の年齢区分	就 農 後					
		就農後年数					
		1年	2年	3年	4年	5年	
【①就農準備資金】 ◇先進農家等で研修を受けようとする者で、市町から「青年等就農ビジョン」の認定を受けた者に対し150万円/年(最長2年)の支給 【②就農準備研修】 ◇研修生の研修先農家へ県と市町で謝礼3万円/月を支給 ◇研修生の傷害保険を県と市町で上限1.8万円を支給 ソフト支援 ハード支援	50歳未満（就農時）	【③経営開始資金】 ◇市町から「青年等就農計画」の認定を受けた認定新規就農者に150万円/年(最長3年)の支給					
【④雇用就農資金】 ◇農業を営む事業体が50歳未満の従業員を新たに雇用し、技術習得の研修に対して60万円/年(最長4年)の研修費を支援							
【⑤経営発展支援事業(通常枠)】 ◇市町から「青年等就農計画」の認定を受けた認定新規就農に機械施設取得を支援 ◇標準事業費 ・経営開始資金(③)受給者 500万円 ・非受給者 1,000万円 ◇補助率 7／8		【⑥新規就農者経営安定化事業】 ◇市町から「青年等就農計画」の認定を受けた認定新規就農者に機械施設取得を支援 ◇標準事業費 ・経営開始資金(③)受給者 875万円 ・非受給者 1,000万円 ◇補助率 1／2					
【⑦経営発展支援事業(地域計画早期実現支援枠)】 ◇市町から「青年等就農計画」又は「経営改善計画」の認定を受けた者に対し、①機械施設取得 ②機械等修繕、③法人化を支援 ◇補助率 ①は7／8、②と③は7／12 ◇補助金上限額 ①②③を合わせて1,050万円 ◇経営開始資金非受給者に限る							
◇ 経営継承者への支援策一覧							
継承する前		50歳以上60歳未満（継承時）	継承する年度（4月～3月）				
【⑧-1セカンドキャリア応援！農業経営継承事業】 ◇親族（三親等以内）以外から継承を受けようと先進農家等で研修を受けようとする者で市町から「青年等就農ビジョン」の認定を受けた者に10万円/月(最長1年)を支給			【⑧-2セカンドキャリア応援！農業経営継承事業】 ◇親族（三親等以内）以外から経営継承して経営を始める50代の継承者に対し継承時に必要な機械・施設の導入等※）を支援 ※）引き継ぐ機械等の取得費や修繕費も含む ◇標準事業費 ・1,000万円 ◇補助率 1／2 ◇その他 親が組合員である集落営農法人の場合は、子が専従かつ役員(理事)となり経営を継続する予定でいること				

なお、いずれの事業も、市町の予算化や認定手続き、また前年世帯所得の制限などの要件があります。ご子息の就農や従業員の独立など、事業活用の際には予め中期的な計画を立ててください。（経営支援班）

～栄えある受賞おめでとうございます～

富山県農業振興賞、ワクワクとやま農林水産奨励賞受賞の皆様

【魚津市の受賞者】



左から
米部門・全国米麦協会会長賞 北田 直喜さん
(知事)
指導者部門 印田 俊一さん
農産加工部門 NOROSHI FARM KITCHEN
稗苗代表

【黒部市の受賞者】



左から
米部門(種子) シード布施山生産組合 舟子代表
ワクワクとやま農林水産奨励賞 野畑 宣久さん
(知事)
米部門 (農)越野営農組合 佐々木代表
園芸部門 黒部丸いも生産組合 島代表

【入善町の受賞者】



左から
複合経営部門 (株)細田農産 細田代表
(知事)
大豆部門 (有)北斗農産 永山代表
写真掲載なし
園芸部門 (株)TAKU FARM

【朝日町の受賞者】



左から
指導者部門 上不 一夫さん
(知事)
麦部門 (農)ハイテック大家庄 坂口代表

中日農業賞・優秀賞



米原 章浩さん（入善町）

農業農村整備優良地区コンクール
農村振興局長賞



（有）林農産 林代表夫妻（黒部市）

全国そば優良生産表彰・農産局長賞



写真は左から
（農）ひばり野ファーム 内呂代表（黒部市）
県農林水産部 津田部長



今後の益々のご活躍をご期待申し上げます。

♪ 農業経営や農作業従事のスキルアップを支援します ♪

農業経営の発展や新たなチャレンジ、農業機械の操作に必要な資格取得には、以下のような支援策があります。いずれも予算は限られているため、今年度中に資格取得等を予定されている方、従業員や構成員に取得させたい事業者の方は、早めに①②の窓口までお申し込み下さい。

	事業名	対象者	助成内容	助成額	資格取得例
①	青年農業者育成基金事業 (富山県農林水産公社事業)	概ね45歳未満の 青年農業者 (従業員を含む)	経営管理に関する資格取得 農業機械等の操作資格	事業費の1/2か5万円のいずれか低い額	◎ 経営管理に関する資格取得 ●農業簿記検定 ●食品衛生責任者 ●農産物登録検査育成研修 ●野菜ソムリエ 等 ◎ 農業機械等の操作資格 ●大型特殊自動車免許 ●中型自動車免許 ●牽引自動車免許 ●乾燥作業設備主任者技能講習 ●フォークリフト運転技能講習修了証 ●玉掛け技能講習修了証 ●二等無人航空機操縦士 等
②	集落営農組織資格取得支援事業 (富山県事業)	4/1現在に45歳以上70歳未満で 集落営農組織で農業に従事 している者	農業機械等の操作資格	事業費の1/3か3万円(※広域連携に取組む組織は1/2か5万円)のいずれか低い額	

※組織間での機械の共同利用、資材の共同購入、県や市町開催の広域連携研修会の参加など

申込
窓口

①はこちら→ [新川農林振興センター経営支援班 \(TEL52-0268\)](https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/0AIRFaWZ) まで

②はこちら→ <https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/0AIRFaWZ> (一次募集 9/30まで)



農山漁村の情報交流サイト「むらまち交流ラボとやま」がオープン！

県内各地の農山漁村地域におけるイベント・体験や宿泊施設、農家レストラン、直売所等の情報を集約した総合サイト「むらまち交流ラボとやま」がオープンしました。

Point 県内の農山漁村地域のイベント・体験、宿泊施設や農家レストラン等の情報が満載

このサイトひとつで富山県の農山漁村を十分に味わうための情報収集が可能！

Point 自動集計ランキング機能を搭載/検索・絞り込み機能も充実

訪問先が定まっていないユーザーにも、求める情報が見つかりやすい機能が充実！

Point 特集記事で農山漁村の魅力を深掘り

県民ライターが、農山漁村の暮らしや文化、想いを深掘りする特集記事を掲載！

Point 観光客を農山漁村へ！ 「とやま観光ナビ」と連携

富山県の公式観光サイト「とやま観光ナビ」とデータ連携し、情報発信力を強化！

Point GPS機能で観光客の周遊を支援

スマホ向けに最適なGPS機能を搭載、その時の気分や天候に合わせて周辺情報の検索に便利！

同サイトで、農園施設やイベント等をPRしませんか？

まずはこちらをクリック！→ <https://www.info-toyama.com/muramachi-lab/>

